



みほ

59年

4

月

№300



みんなと育つ三〇〇号

「広報みほ」が今月でちょうど三〇〇号を迎えました。創刊は、昭和二十四年一月です。
そこで、今回は「広報みほ」と同じ、三十四年一月に生まれた城南の黒尾明美さん（世帯主壮さん）宅を訪問しました。
黒尾さん宅では、広報紙を見ながら、明美さんの生まれたころを振り返り、思い出話に花を咲かせていました。

300号 特集

2 広報みぶは、昭和三十四年二月二十四日、みぶ町政だよりとして第一号を発行以来、二十五年目にして記念すべき三百号を迎えました。

そこで、広報みぶ25年のあゆみと題して、壬生町のまなまきこを広報紙面から拾いふりかえてみました。

昭和34年1月24日、「みぶ町政だより」として第一号をフロイド版「ページ」の六十行十段組で発行。

35年8月、壬生町のシボル、町章が決まる。

36年8月、日本理化学工業所ほか五工場を誘致。

37年4月、県立壬生高等学校開校（元新農高分校）

37年6月、小田田町長西國啓田を視察。

37年11月、壬生市街地の上通町、仲通町米田渡りが本舗装となる

39年2月、輸出玩具工場同地建設はじまる。

39年4月、町営住宅第一期工事完成（ひばりヶ丘）。

40年6月、水道事業を始め、水



町章さまる
全国から四二九件応募、昭和三十五年八月「ミ」の文字を円形に組み合わせ町民相互ずさえ、将来壬生町と共に歩み同歩かつ限らない発展と栄光をなすものができる。



創刊号

「町政だより」を町民と町政のかげ橋にいと、昭和三十四年一月二十四日、第一号を発行したものです。
この創刊号は、消防通点検版「ページ」、地域座談会等が掲載されていました。



壬生市街地が本舗装に

昭和37年11月、壬生市街地の上通町、仲通町、栄町通りが本舗装になりました。また、翌年の11月には、宇都宮橋本線と小山今市線が全部舗装になりました。

広報みぶ歩んだ25年

広報への意見

三百号を記念して、次の三人の方々に広報への意見を述べてもらいました。

町民が交流できる欄を増やして、一般の投書による交流の場を設けて欲しいと思います。

増やして、一般の投書による交流の場を設けて欲しいと思います。

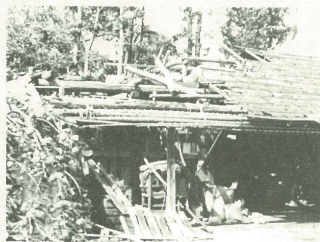
例えば、不用品交換案内を設けていただき、運搬不能な家具、庭木なども用品ページ用品等気軽に交換できるように、その他、町政に対する希望と、それに対する担当者の解答も載せて欲しいと思います。

また、生活の知恵コーナーは物知りなおばあちゃんの知恵とか、毎日の生活の中でのちょっとしたアイデアを載せて欲しい。外に、サークル案内等についても、一人ひとりが情報を寄せ、広報みぶの編集に携わって欲しいという意識を持っては、

5月は「善意高揚の月」です

2 源地完成（玩具団地）。
41年4月、壬生町政だよりがイメージを一新し、フロイド版からB5版（現在の大きさ）になる。
41年7月、下水道終末処理場建設始まる（玩具団地）。
42年10月、農集電話開通。
42年4月、壬生町政だより白紙を迎える。
42年11月、皇太子殿下おもちや団地を視察。
43年6月、電話が町内全線自動化になる。
44年4月、壬生町と都賀町を結ぶ電線が完成。
44年8月、台風九号で巻巻が壬生町を襲う。
45年6月、独協医科大学建設決まる。
45年11月、消防組合生分署が開設。
46年8月、独協医科大学の建設着手。
47年8月、宇都宮橋本線ハイパス工事着手。
48年4月、鯉沼と下馬木を結ぶ地盤橋完成。
48年4月、羽生田で三〇〇年前の人骨を発掘。

3 49年10月、町の人口が三万人を



台風9号で竜巻

昭和44年8月23日、台風9号で竜巻が本町を襲い家屋28戸全半壊し大きな被害を受けました。



輸出玩具工場団地建設はじまる

昭和39年2月、開拓農地28万6千坪に3か年計画で玩具組立メーカー9工場、関連企業7工場の建設に着手しました。



皇太子殿下は、昭和四十二年十一月十七日公式に来町され団地を二視察されました。



独協医科大学病院開院

昭和49年7月、現代医学の粋を集めた医療設備の備った独協総合病院が開院しました。

広報紙に望む

もっと町民間のコミュニケーションも深まり親しみのある広報紙になるのではないかと思っています。

平易な字で多くの記事を書きたいです。

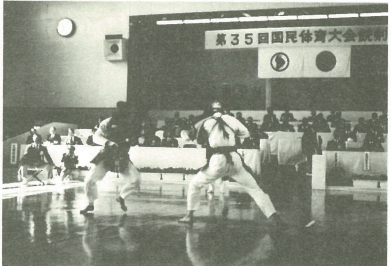
安塚 一星 養子
前は、宇都宮に住んでいましたので、町の広報紙が届くのを楽しみに待つ一人でした。それは、町の情報を知る上で、たいへん役に立ったからです。この安塚も私を含めて新住民の増加が著しく（核家族の増加）、まだまだ壬生町の歴史や地域の特性等知りたいと望んでいる方も多いたと思います。そこに町史等は子どもと一緒に楽しめるよう、小学校高学年生が理解できる平易な活字で表現されてはどうでしょうか？

また、告知や案内も含め生活の中で思いっつき、住居に関するアドバイザー等いろいろな分野の提供記事も多く載せて欲しいと思います。

壬生町民憲章 1. 心のふれあいを大切にし教養と文化の高い町をつくります

4 広報みぶ

突破。
49年11月 合併二十周年記念式典開く。
50年4月 石橋地区消防組合の安隊分遣所ができて。
50年11月 みぶ町政だより一百号を迎える。
51年10月 新設 elementary 学校完成。
52年4月 おぢらのまち駅開通、住居表示実施。
52年11月 町民憲章および町の花・木・鳥を制定。
53年1月 壬生町政だよりカードの広報みぶに改名。
54年10月 統合中建設はじまる。
54年10月 団地リハール大会を兼ねた第9回全日本柔道対抗選抜剣道大会が開かれる。
55年10月 国勢調査の結果、人口が三万五千人を突破。
55年10月 国体秋季大会新種目の銃剣道競技、町民体育館で行われる。
56年4月 壬生、稲葉の両中学校を統合した新生壬生中学校を開校。
57年2月 羽生田に近代的清掃センター完成。
57年2月 手づくりの町の歌ができて。
57年8月 広報みぶお知らせ版を発行。
58年10月 独協学園理事長岡渡氏を名誉町民第一号に推挙。



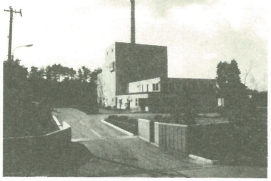
国体銃剣道競技体育館で行う

第三十五回国民体育大会(栃の葉国体)は、昭和五十五年十月栃木県で開催され、本町では銃剣道競技が町民体育館で三日間にわたり行われました。成績は、開催県にふさわしく、本県が総合優勝を果しました。



総合壬生中開校

昭和56年4月、壬生、稲葉両中学校を統合した新生「壬生町立壬生中学校」を開校しました。各教室には、時代の要請に応えるため立派な施設が設置されています。



処理能力の高い近代的清掃センターが昭和57年2月完成しました。この施設は、可燃物と不燃物が処理できます。

広報紙に望む

多くの人に喜ばれるものに
西 部 泰 良 勇
現在のよう
な情報化社会
においても地
域の情報交流
また、心の交流の場として
「広報みぶ」の持つ役割は、
非常に大切なものではない
かと思えます。
私は、青年団等のサークル
で町とのつながりの中で
情報を得られますが、サー
クル活動等ふれあいの場が
なくなりまして、情報を知
る場もなくなってしまうま
す。そういう意味でも多く
の「情報」を入れ紙面の充
実をはかっていただきたい
と考えます。
私たちは、青年団の行事
等を行って行く中で「広報
みぶ」に載せていただきました
ことがありますが、それは、
活動し主催している人たち
のほげみとなる紙面作りを
お願がしたいと言っています。
最後に三百年の記念
紙を機にますます紙面が充
実し多くの人たちに喜ば
れる広報みぶになってい
たいと思えます。

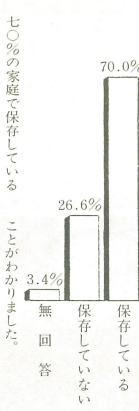
壬生町民憲章 1. 自然と歴史を大切に、よりよい環境をつくります

読まれているものは 町事業と町民のひろば

一、七〇〇世帯抽出で広報アンケート調査

「広報みぶ」の発行三〇〇号にあたり、町民のみなさんに、町の広報紙に対し、どのように考え、感じているか、また意見や希望をお聞きし、今後の広報紙づくりにも生かし、いつも町民のみなさんに親しんで読んでいただける広報紙を作るために、このほどアンケート調査を行いました。

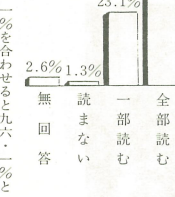
その結果、ほとんどの家庭で「一」保存していますか



七〇〇の家庭で保存している

5 広報みぶ

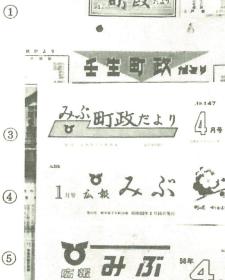
全部読んでいる世帯七三・〇%と一部読んでいる世帯二三・%と



一%を合わせると九六・一%とほとんどの世帯で読まれている



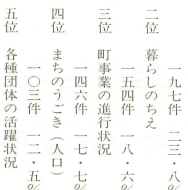
題字の移り変わり



① 昭和三十四年一月号
② 昭和三十五年四月号
③ 昭和四十六年三月号
④ 昭和五十六年四月号
⑤ 昭和五十八年四月号

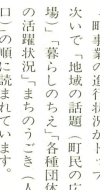
ことがわかりました。
〇全部読む世帯で関心をもっている記事は……
一位 町事業の進行状況
五位 町史編さんだより
〇一部読む世帯で関心をもっている記事は……
一位 地域の話題「町民の広場」
二位 暮らしのちえ
三位 町事業の進行状況
四位 各種団体の活躍状況
五位 町史編さんだより

「役立(二)四〇・六%と「少し役立(一)五〇・七%を合わせると九一・三%が、役立っている」といふ結果が、役立っていますか



「読みやすい」三四・三%と「普通」六二・〇%を合わせると九六・三%になります。

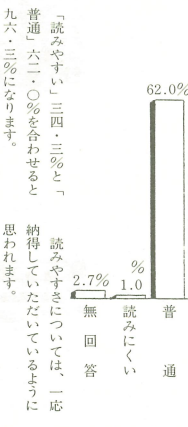
「読みやすい」三・四%と「普通」六二・〇%を合わせると九六・三%になります。



「わかりやすい」が八〇・二%ですが、これと反対に「わかりにくい」が四・九%と「わかりにくい」〇・四%を合わせ

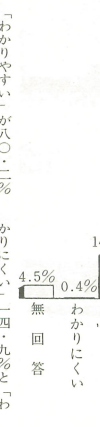
の理由は
時間がない
生活に役立っていません
必要がない

「役立(二)四〇・六%と「少し役立(一)五〇・七%を合わせると九一・三%が、役立っている」といふ結果が、役立っていますか



「読みやすい」三・四%と「普通」六二・〇%を合わせると九六・三%になります。

「読みやすい」三・四%と「普通」六二・〇%を合わせると九六・三%になります。



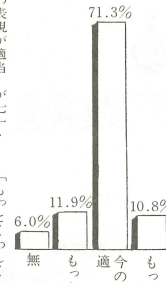
「わかりやすい」が八〇・二%ですが、これと反対に「わかりにくい」が四・九%と「わかりにくい」〇・四%を合わせ

壬生町民憲章 1. 思いやりで満ちた心であたたかい社会をつくります

広報みぶ

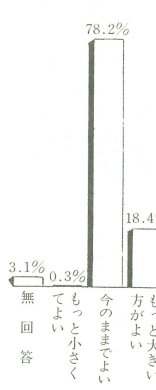
ると一五・三％の世帯がわかりにくいと答えていることは、見逃すことはできません。

問六 記事の内容はどうか



「いまの表現が適当」が七一・三％の回答を得ています。前問との関連もありますが、「もっと簡明」一〇・八％、「紙面の大きさはどうか」

「いまの表現が適当」が七一・三％の回答を得ています。前問との関連もありますが、「もっと簡明」一〇・八％、「紙面の大きさはどうか」



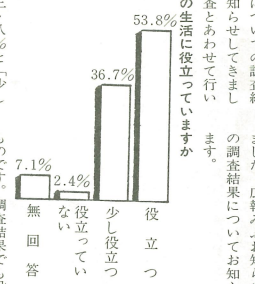
七八・二％の世帯が「今のままでよい」と答えていますが、「もっと大きい方がよい」と答えた世帯が一八・四％あり、これも前問の紙面とあわせて検討していきなさいと思います。

問九 広報みぶへの意見、希望は……

四十九項目の意見、希望が寄せられました。

お知らせ版

役立っているが約9割



そのうちの上位十項目を掲載します。

⑥ 地域の話題をもっと多く掲載してほしい

⑦ 昔話、伝説を掲載してほしい

⑧ 図書館より欄を設けてほしい

⑨ 主婦向けの記事を掲載してほしい

⑩ 町全域が載るようにしてほしい

⑪ 老人に關した記事をもっと

安塚小校舎増改築など 58年度事業の落成祝う

町では、五十八年度中に完成した安塚小学校、総合運動場夜間照明、テニスコートおよび駐車場、第二保育所の合同落成式を、三月三十一日町総合運動場体育館で、町議会議員および工事関係者約一〇〇人を招いて行いました。

この日は、式典に先立って、完成したばかりの各施設を町有バスで見学したあと、午前十一時から式典を行いました。式典は、町長あいさつについて経過報告が、その後松本徳郎町議会



完成した安塚小(郵便局隣) 易保険創立金還元融資施設



完成した第二保育所(国民年金積立金還元融資施設)

議長、佐藤三郎町議会議員、早川近一教育委員長よりそれぞれ祝辞があり、出席者全員で落成を祝いました。

施設の建設概観は、次のとおりです。

安塚小学校
建築場所 壬生町大字安塚二〇七八番地

工期 昭和58年8月3日着工、昭和59年3月21日完成

総工費 三億千七百三十万円

総合運動場に照明施設完成 ナイターができるぞ



点灯式で結果も上々の夜間照明

施設概要(増築分)

校舎 鉄筋三階建二、二四〇㎡

給食室 鉄筋平家建 一六六㎡

普通教室(11)、管理室(4) 特別教室(2)、給食室(1) 総合運動場テニスコート 設置場所 壬生町大字壬生甲三二八八番地

工期 昭和58年7月1日着工、昭和59年1月5日完成

建築場所 壬生町大字安塚二一〇七九番地

第二保育所
工期 昭和58年9月17日着工、昭和59年2月29日完成

総工費 五千八百十二万円

施設概要

面積 五、三九一㎡

コート 舗装六面(全天候型四面、人工芝二面) 四、〇四九㎡

駐車場 舗装、三四二㎡(付属施設休憩室、ベンチ、便所)

工期 昭和59年2月29日完成

総工費 五千三百五十六万円

施設概要

面積 二五七六・〇五㎡

鉄骨平家建 建築面積九一・〇一㎡

保育室(2)、遊戯室、乳児室、ほくろ室、調理室、保健休憩室、事務室(各一)

総合運動場夜間照明の概要について、別に掲載しましたので、そちらを参考にしてください。

町民みなさんご要望の、ナイター照明施設が総合運動場に完成。三月十九日点灯式が行われました。照明結果も上々で、三月二十日引渡になり、四月一日から使用が開始されました。

この照明施設は、高さ二三・五メートルの照明鉄塔が八基設置されたもので、各照明基は一キロワットの電灯三十灯が

照明の使用料は、一面で三〇分当り全灯で三、〇〇〇円、五分の二灯で二、五〇〇円です。直接運動場へ申込みください。

壬生町民憲章 1. さまりを守り互いに信じあう明るい町をつくります

広報みぶ

壬生町民憲章 1. 働くことによるこびをもち豊かな生活をきずきます



壬生町の方言

長い間、各地でつかわれ使われてきた方言は、マスコミの発達や学校教育の普及によって、今まに消え去ろうとしています。そこで今回は、町史編さん民俗調査で六十代七十代以上のお年寄りの方々から聞き取った、自然、動植物に関する方言語彙をいくつか紹介します。

(1)自然に関する方言語彙(共通語は漢字・平仮名、方言をカタカナで標記する)

蟻(アリ)メ、氷柱(つらら)メ
 アメンボ、雪(ユキ)エキ、石(イシ)ツコ、霜柱(エテ)、太陽(ヒト)オテ
 レントサマ、雷(雷)ゴロゴロサマ、レエーサマ、雷(雷)の速(速)く来る方向



方言収集にご協力いただいたお年寄りのみなさん

ハサンバイ、露(露)ワヨ、沼(沼)ノマ、林(林)ノヤマ
 (2)動植物に関する方言語彙
 カ(カ)イヌメ、馬(馬)ノハシメ、めだか(めだ)ウキウオ、百合(百合)ノエツ、牡(牡)鶏(鶏)ノオヤジ、ひき蛙(ひき)ノオカマゲ
 ノ、かまきり(かま)ノマギツチ、ヨカマ(ヨカ)ノジ、ソナ、蝶(蝶)ノチヨンマ、チヨマン、トシ、魚(魚)ノト、とんぼ(とんぼ)ノトシバ、なめくじ(なめ)ノハダケ、カテ(カ)ノホ、みすまじ
 ノ、ツクシノホ、土筆(土筆)ノツクシ、ツクシノホ、椋(椋)ノモクドリ、松(松)ノマツタンゴ、マツボクシ
 葱(葱)ノヒキ、葉(葉)ノハツバ、いなご(いな)ノネ、ゴ、蛇(蛇)ノヒビ、蟻(蟻)ノヘ、蝮(蝮)ノホトクロ、むかで(むか)ノヒムカセ、蛇(蛇)ノメメス

この他にもたくさんの方言があります。しかし、この多くは人々から忘れられようとしています。それは共通語が浸透したことが大きな原因ですが、特に自然・動植物の方言が死語になりつつあるのは、私たちが周知から少しずつ自然が失われつつあり、また私たちが自然の恵みを忘れつつあることも、その一因ではないでしょうか。

町内へのめずらしい方言をご存知の方がありましたら、町史編さんへお知らせください。

町史編さん調査員山中清次

町史編さんだより

33

民俗 その十七 日本三休地蔵尊



東下台の日本三休地蔵尊

言ひ伝えによれば、壬生築城の開祖壬生後守風業が志を立て、出生地京都を出て諸国を遍歴した末に、壬生町を永住の地と定めたとき、自家の守護仏として長い間信仰してきた、京都壬生寺の本尊地蔵菩薩三休のうら一体を、この地の守りとして鎮座したのがこの繩解地蔵尊です。

この菩薩は、平安時代的一条天皇の正暦年間(九九〇)九九四年、京都壬生寺の開山伏見僧部が靈夢によって、仏師定朝に命じて、二本木で三休の地蔵尊を刻み、この木として伝わってきたうら一体であり、壬生風業の兄弟がそれぞれ所持して、その住居地に祭つたと言われています。その三休とは、

- 一、京都壬生大路西生寺の繩目地蔵大菩薩
- 二、伊賀市(旧伊賀国名張郡西和尙は広く下野国内(栃木県内)を行脚する三十年、安永三年(一七四四年)お堂は三〇二に再建されました。このお堂の寄進者は、その当時下野国内に点在していました。また、壬生氏の田臣の氏祚の尽力が大でした。それは昭和の初期、東武鉄道(壬生駅敷地)をとると、お堂の解体によって、その柱、彫刻などに壬生氏の田臣の住所

姓名が明記されていたの報明しました。

それは、昭和六年七月でした。鉄道敷地に境内地が買収されるにあたり、現在の東下台に地元の人々を中心に昭和九年月新築再建されました。昭和十一年四月二十三日大祭の前日に仏落慶法要が行われました。

現在は、前夜四月二十三日を宵祭、大祭が行われ、近郷近在の若男女の参詣にぎわい、特に子ども達の参詣として異母はもちろん、県外からも参道狭しと参詣人が後を絶たないありさまです。

非常に靈驗あらたかたので、いろいろの奇蹟を現し安産、子育ての開運、免罪(罪)を軽くするのしるしをあらわし、多くの信仰を集めています。

参道の両脇には、たぐさの露店が並び、壬生町の春の一つの風物詩でもあります。かつては歌舞伎なども盛んでしたが、現在ではカラオケ大会が行われ、現在ではまた廉價(廉)の自治会公民館を兼ね、隣接して町の保育所もあり、地域の中心をなした地蔵菩薩の意にふさわしい盛況をもたらしています。

町史編さん近世調査員 国生 俊道

結婚相談所

51組の新婚祝福

農業後継者激励会



若いカップルで終始和らいだ激励会

町結婚相談所(渡辺信所長)主催による、第十四回農業後継者新婚夫妻激励会と相談員さん感謝会が、三月三十日中央公民館で行われました。

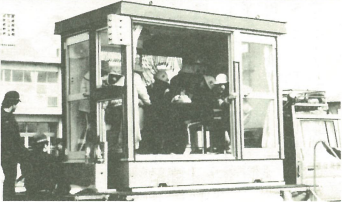
これは、五十八年度中に晴れて結ばれた五十一組の新婚カップルを祝福して、夢の実現に励ましを送ること、嫁酌人の苦勞に感謝し、続いて力添えをい

稲葉小が 火事だ!

本番さながらに消防演習



「準備OK 放水開始」



あ、あ、こわい！起震車体験

ただ「こー」と新夫妻をはじめ嫁酌人、関係者を招いて開いたもので、相談員さんに感謝状を後継者五十一組に記念品と、檢井町長直筆の色紙が贈られ、若いカップルのあつあつぶりに、会場は、終始和らいだ雰囲気になりました。出席者のみさんも楽しんで過ごされていました。

春の全国火災予防運動期間中の三月三日、石橋地区消防組合と町消防団合同の消防演習が、上柳業の稲葉小学校で行われました。

この演習は、北々西の風十二メートル、午前十時五分に稲葉小北側校舎の三年教室から出火。教職員の初期消火にもかかわらず、折からの強風にあおられ延焼拡大し、教員二名が児童の避難誘導中に負傷したことを想定して行われました。

演習の後、児童や一般住民らが起震車で震度五と七を体験。また、消火器を使って消火実験も行われ、初期消火方法を学びました。

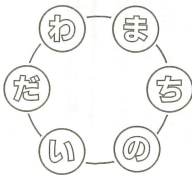
地下公示 価格決まる

昭和五十九年の地価公示価格が発表されました。

この価格は、土地について売手、買い手どちらにも片寄らない適正な価格を表したもので

- 国土庁が地価公示法に基づき、毎年一月一日現在を調査し、四月一日にその結果を公示するものです。本町は次の通りです。
- 標準地の一平方メートル当たり
- 居住地域
 - 壬生甲字郷社前三二番三三 五三、三〇〇円
 - 第一種住居専用地域
 - 壬生甲字神代前八九番三外 四四、二〇〇円
 - 安塚字下原六一九番四五 五〇、〇〇〇円
 - 緑町一丁目一〇三番七(緑町一五一三) 五七、八〇〇円
 - 安塚字西南原八七七番四 三六、三〇〇円
 - 近隣商業地域
 - 壬生甲字通町二四一番二 七五、五〇〇円
 - 市街化調整区域内宅地
 - 藤井字星の宮前二七三番六 六八、八〇〇円
 - 七ツ石字柴田内七〇番 七二、〇〇〇円
 - 安塚字西原三二八九番一外 一一、五〇〇円

この公示価格(台帳)と位置図は、どなたでも閲覧できます。希望される方は、役場企画課へ申し出てください。



「市民のひるば」は、みぶで作るべしです。まちのわだいなは、身近なニユースやできことぞ、職場の若者、を紹介される方は、男女は問いませんがなるべく、独身の方を、「私の家族」は小学生男女の方、わたしの自慢料理は主婦の方こそ願うござい。

市民のひるば

見直そうくらしと健康増進 消費生活展に500人



人気の集った不用品チャリティバザー

「見直そうくらしと健康増進」をスローガンとしたみんなの消費生活展が、三月十七、十八日の二日間、中央公民館で開かれました。
この催しは、私たちが商品増進と多様化、複雑化している中で生活していることを自覚し、よりよいくらしと健康、福祉増進を図ろうと、町が婦人団体の協力を得て実施したものです。
会場には、衣・食・住など消費生活に関するものを目で学ぶ映画コーナーをはじめ、みそ汁の塩分測定や血圧測定などを行う健康相談コーナー、訪問販売の苦情処理などの苦情相談コーナー、くらしに役立つ電話の正しい使い方、話し方の指導をした電報電話局コーナーなど十一

のコーナーが設けられ、二日間で延べ五百人が訪れました。
特に家庭の押入れや物置きに眠っている品物を持ち寄って行った不用品チャリティバザーに人気が集っていました。

できたぞトーンポール

卒園生が記念に残す



トーンポールと子どもたち

東下台の町立第四保育所の庭先に、このほど手づくりのトーンポールが完成、保育所内で話題となっています。
これは、三月に同保育所を卒園した壬生小と藤井小に入学した子どもたち十二人が、記念に何か変ったものを残そうと作ったもので、高さ約二メートル、子どもたち十二人の似顔が彫られてあり、先生方の協力を得ながら丸太の皮むきや色ぬりなど約一月かけて作り上げました。
三月二十四日の卒園式には、みんなで力を合わせて庭に建て、卒園を祝いました。

短歌

鈴木佳世子
霊園の門に花充るは寒からも彼岸中日雪降りしきる

和久井 香
スーパの野菜の高値に買はず来て雪残る畑に冬菜摘みたり

茂木苗美子
その想ひ母もしたりと愛嬌子の母となりたる娘のなやみ聞く

伊沢 克明
注射液のその冷たさの我が腕に広がりしそ小さき眩暈

俳句
佐藤 淑子
塵一つなき神堂の寒さかな
宵ひとり竹むねの駅さむし
秋山 仙
酒井 トシ
罪列のうしろは乱れ蓮道楽
鈴木 愛子
寒々と千の地蔵のひと立つ

職場のわかも

岩谷 渉子さん(21)
第一化成株式会社



理想の男性は？

寛大で優しい人

学生気分もすっかり抜けた会社人二年生。岩谷さんの仕事は第一化成㈱の総務課勤務。「毎日忙しいなんてものじやありませんよ」と言いきるの笑顔は、男子社員の憧れの的。確かに学生時代と違い責任の重さを感じます。しかしながら夢はそう遠くない結婚だそうで、優しくして心広い人が理想とか。
南大、中学時代にインドポニーと出会い、高校ではインターハイに出場。また、この冬からはスキーに挑戦。その上達からは目覚ましく、仲間も驚いているというスポーツギャルです。

その反面、料理も得意で、休みにはお母さんといっしょに新しいメニューに取り組んでパーティーを増やしています。会社の中で楽しいことは、お昼休みに先輩たちとパーティーをするのをやること。また辛いことは仕事での上司からのお叱りだそう。社内評は、堅実さ、好きて優しい、明るさ、堅実さを兼ね備えた人で、まさに職場のアイドルです。

これから健康に留意して、立派な社会人となるよう大いに頑張ってください。
紹介者 総務課 大高典男

わたしの自慢料理



しその実の佃煮
緑町二丁目
菱田 素子

〈材料〉しその実 500g・土生菜 150g・小女子 200g・しょう油3カップ・酒1カップ・水あめまたは砂糖2/3カップ
※1カップは約200cc

〈作り方〉①しその実を洗って水けを切って、蒸し器で3分くらい蒸す。②蒸したしその実を平らなざるにあけ、3時間置く。③厚手の鍋を火にかけて小女子、土生菜(大きさ1cm厚さ2mm)、しその実と順に入れ、しょう油、酒を入れる。④沸騰したら水あめ(または砂糖)を入れ、弱火で汁がほとんどなくなるまで煮つめる。焦がさないように何度か鍋をかえす。

ハイキングのときなどのおにぎりの中に、また甘い物の後のお直しにどうぞ。



私の家族

やさしい
おかあさん
壬生小二年
大島 篤史



ぼくのうちはほのかです。でもおとさんは会社につとめています。のうかは冬ひまなで、おかあさんはしんせきの豆やさんに、お手つだいにいっています。



篤史君のお母さんの丈さん

おかあさんは、朝一番早くおきて、ぼくたちの食事の用意をしてくれます。そして、ぼくが起きるころは、お部屋がとてもあたたまっています。早くからストープをつけてくれるのだと思います。
ぼくが学校から帰ると、いつもおいしいおやつが用意してあります。とてもやさしいおかあさんです。
ぼくがねるころになると、お洗たくを始めます。だからねるは一番あとになってしまふと思えます。ぼくは、おかあさんてたいへんだなあと思っています。
おかあさんの手は、とてもざらざらしているのさわわさといいたいです。あかきれもできていて、血が出るのとパンソウコウをはっているのを見ます。
「おかあさん、いたくない。」と聞くと、
「大じょうぶよ。ありがと。」といいますが、いたんだらうなあと思っています。
ぼくは、ずっとおかあさんを大切にしたいと思っています。

